

「第 10 回アラブ人学生歓迎プログラム ASP2011」

総合政策学部 3 年 佐野圭崇

1. 目的

本プログラムは、日本語を学ぶアラブ人学生と、日本でアラビア語を学ぶ日本人学生の相互的な学術交流活動である。長期的な視野に立ち、将来にわたって日本とアラブ世界の関係を友好的に発展させることのできる人材の育成のほか、学生主体のイスラーム圏との学術的な相互交流のモデル作りも目指している。

2. 内容

アラブ世界で日本語を学ぶ学生を日本に招聘し、慶應義塾大学湘南藤沢キャンパスでアラビア語を学ぶ学生たちとの交流による日本語短期研修プログラムである。

具体的には、日本語ビデオスキットの制作や日本語による個別の研究レポートの作成、日本文化体験、アラビア語によるディスカッションなどをSFCの学生たちと協働で実施する。“作りながら学び、学びながら作る”というコンセプトのもと、実践的な活動の展開が、単なる相互理解にとどまらず、自分たち自身の変化への努力を通じて、互いに共有できるものを探究する契機となり、日本とアラブ、さらにはアラブ人同士の良い関係を作るプログラムとなることを目指している。



「現代文化探究」にて受講者からの質問に答えるアラブ人学生



着付けを体験するアラブ人学生

3. 2011 年度統一テーマ「SFC から始まるジハード～実践型学術交流の 10 年目～」

本年度は「SFC から始まるジハード～実践型学術交流の 10 年目～」を全体の統一テーマにシリア、レバノン、モロッコから計 6 名の学生を招聘して、日本語スキットビデオの協働制作、各招聘者の関心分野についてのレポート作成（文献講読やフィールドワークを含む）、日本文化体験、小旅行などを 実施した。また、ジハードについてのアラビア語ディスカッションなどのワークショップも開催した。

「ジハード」とは、元来、信仰や価値観の異なる人々との間に良好な関係を不断の努力によって築くことである。そのようなジハードの本来の姿を「問い直す」ことをテーマとした昨年度の活動を踏まえ、本年度は、参加者一人一人が主体となってジハードを「実践」することを目指した。

10 年間の活動で培った関係を礎とし、良好な関係構築のさらなる発展を目指して、アラブ人学生と共に学術交流レベルでのジハードを実践することによってこそ、私益や国益を越えて発展していく人間同士の関係が始まるものと考えている。

4. ASP2011 の活動概要

日時:2010 年 10 月 23 日～11 月 6 日

場所:慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス(SFC)

参加者:シリア人学生 3 名、モロッコ人学生 2 名、レバノン人学生 1 名、計 6 名

奥田敦研究会に所属する学生約 30 名

5. 期間中の主なプログラム内容

10月25日(火)	アラビヤ語ディスカッション 慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス(以下 SFC)でアラビヤ語を学ぶ学生とアラブ人学生が、宗教、文化、政治、教育などのテーマごとに、アラビヤ語でグループディスカッションを行った。
10月27日(木)	アラビヤ語授業サポート SFC で行われているアラビヤ語の授業にアラブ人学生が参加し、アラビヤ語を学んで半年ほどの日本人学生と交流し、アラビヤ語学習のサポートをした。
10月28日(金)	母国についてのプレゼンテーション 奥田敦教授の講義『現代文化探究』の中で、アラブ人学生が各自の故郷などについて日本語でプレゼンテーションや本講義の受講者(150人前後)との質疑応答なども行った。
10月31日(月) 14:45~	着付け体験 外部の先生をお招きし、アラブ人学生が浴衣の着付け体験を行った。
10月31日(月) 16:30~	茶道体験 外部の先生をお招きし、アラブ人学生が茶道の体験を行った。
11月1日(火) 11:10~	日本語授業体験 外国人に対する日本語教育法を研究されている重松淳教授をお招きし、日本人学生、アラブ人学生ともに、日本語の模擬授業を受けた。
11月4日(金) 14:45~	日本語レポート最終発表会 アラブ人学生と日本人学生が協力して作成した日本語レポートの最終発表会を、奥田敦教授の講義『現代文化探究』の中で行った。各アラブ人学生の問題関心をもとに、専門家へのインタビュー調査や日本人学生とのディスカッションなど、2週間の様々な体験を踏まえて完成させたレポートを、アラブ人学生が受講者(約100名)の前で発表した。

※週末は鎌倉旅行、東京旅行、富士旅行へ出かけた。また、上記のプログラム以外は日本人学生とアラブ人学生が協働し、日本語によるレポート作成に計100時間ほど取り組んだり、日本語学習者の副教材を目指したスキットビデオの撮影を行ったりした。

ASP2011の成果の一部は、11月22、23日に東京ミッドタウンで開催される慶應義塾大学湘南藤沢キャンパスオープンリサーチフォーラム(ORF2011)にて展示公開する予定である。

6. 予算の執行

本活動の招聘者1名の航空券代として、湘南藤沢学会「シンポジウム・研究ネットワークミーティング基金」からの助成による予算を執行する。

7. 参考資料

・本年度の活動に関して、SFC CLIP に掲載された

(<http://sfccclip.net/news2011102801>)

・本年度「アラブ人学生歓迎プログラム ASP」公式 web サイト

(<http://nafidha.sfc.keio.ac.jp/asp/main.php>)

なお、本プログラムの詳細に関する報告書を現在作成中である。

8. 謝辞

本プログラム実施に際し、ご協力いただきました全ての皆さまに心より感謝いたします。なお、本プログラムは2010年度湘南藤沢学会「シンポジウム・研究ネットワークミーティング基金」、慶應義塾大学「150年記念未来先導基金」のご支援、また寄付や学園祭での収益などにより行われました。